

アジア原子力協力フォーラムの経緯

FNCA: Forum for Nuclear Cooperation in Asia

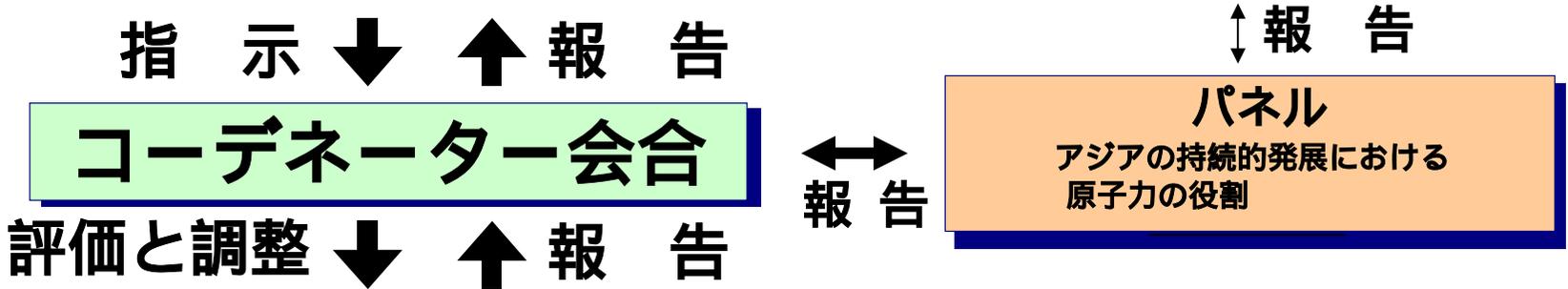
- 1990年3月 近隣アジア地域協力国際会議
(ICNCA: International Conference for Nuclear
Cooperation in Asia)

原子力委員会: 主導、科学技術大臣会合 / 年
第1回 ~ 10回 (1990年 ~ 1999年) : 東京開催
アジア諸国のニーズと地域協力体制
研究炉利用、放射線利用のプロジェクト研究

- 2000年からFNCA - 発展的移行 -
各国コーディネーター: プロジェクトを統括
成果を重視した活動
大臣級会合: 各国持ちまわり
現在: 12プロジェクトと2パネル

大臣級会合

オーストラリア、中国、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム



プロジェクト

<p>研究炉の利用</p> <p>テクネチウム製造、中性子放射化分析 基盤技術</p>	<p>広報</p>
<p>農業への利用</p> <p>植物の突然変異誘発、バイオ肥料</p>	<p>放射性廃棄物管理</p>
<p>医療への利用</p> <p>放射線がん治療、PET・サイクロトロン</p>	<p>原子力安全文化</p>
	<p>人材養成</p>
	<p>工業への利用</p> <p>低エネルギー電子加速器</p>

FNCA原子力広報の活動

- 1991-1999年 広報専門家会合
情報交換が目的；PAセミナーとコンタクトパーソン会合
各国持ちまわり開催
- 2000以降 プロジェクトリーダー (PL) 会合
 - (1) 各国のニーズに応えるPI活動；
 - (2) マスコミへのPA対応；
 - (3) 各国の高校生の放射線の知識・関心度
男女各500名：基礎情報の調査分析と応用；
 - (4) コミュニケーター養成講座；
 - (5) 地域スピーカービューロー (RSB)：講師派遣；
 - (6) 今後の広報：FNCAの活動